

我孫子市 生成AIシステム導入業務委託 機能要求一覧

【基本条件】

利用開始時期	令和6年9月
利用アカウント数	500アカウント以上
同時接続数	30以上

【必要性】

必須	実現が必須であり欠かせない
重要	実現が重要である
要望	実現が望ましい

【対応度】

A	標準的機能で対応可能。(構築費や月額使用料に加算され、将来的に追加費用が発生せず対応するカスタマイズについては、標準的機能とする) なお、特記事項があれば「代替方法又は特記事項」欄に内容を記載すること。
B	構築費や月額使用料とは別に将来的に追加費用の発生が見込まれるカスタマイズで対応可能。 「代替方法又は特記事項」欄に内容とカスタマイズ費用(積算根拠含む)を記載すること。
C	対応不可能

御社サービスの各機能への対応状況について「対応度」欄に、A～Cを記入し実現方法等を記入してください。

本事業において、AIとのやりとりで処理するテキストデータは、トークン数や文字数といった単位(以下「処理単位」という。)を用いず、「質問数」を1単位として定義します。

御社サービスにおいて独自の処理単位を定義している場合は、以下の方法に基づき質問数に換算して、対応度を回答してください。

・1質問 = 600文字(入力100文字 + 回答500文字)として計算するものとする。

ただし、御社サービスにおいて、入力文字数または回答文字数のいずれかが、御社サービスで定義する処理単位に含まれない場合は、含まれる分のみを換算し、計算しても良いこととします。

例：

基本料金に「120万文字/月」の利用を含むサービスにおいて・・・

・入力、回答いずれも利用文字数に含まれる場合 ⇒ 「2000質問/月」

・入力のみが利用文字数に含まれる場合 ⇒ 「12000質問/月」

No.	区分	機能要求内容	必要性	対応度	代替方法又は特記事項
1	セキュリティ	本サービスで使用するサーバ及びデータの保管場所は、日本国内に設置されたデータセンターに限ること。	必須		
2	セキュリティ	本サービスに入力されたプロンプトの情報は、いかなる理由であっても他者に開示されることなく、また、本市以外の利用に影響を及ぼすLLMの学習にも利用されないこと。	必須		
3	セキュリティ	入力されたプロンプトに個人情報などの機密情報が含まれていた場合、そのことを検知する機能を有し、送信不可とすること、または、送信前に警告を出すことができること。	重要		
4	セキュリティ	管理画面は、必要に応じて、多要素認証やIP制限などを用いて認証強度を高めることができること。 (No.5でLGWANに対応している場合は対応度をAとすること)	重要		
5	セキュリティ	本サービスは以下のいずれかを満たすものであること。 ・ ISMAP認定を受けたサービス ・ ISMAP認定を受けたサービスリストに記載のあるサービス上に構築されたサービス ・ LGWAN上に構築されたサービス	要望		
6	アカウント管理	利用職員ごとにアカウントを作成できること。	重要		
7	アカウント管理	作成したアカウントに管理者権限を設定又は解除することができること。	必須		
8	アカウント管理	アカウントの作成や設定項目は、CSVファイルなどの取り込みにより一括で登録・削除ができること、または、登録支援（登録の代行）ができること。	重要		
9	アカウント管理	アカウントの設定項目は、CSVファイルなどの取り込みで一括で変更できること、または、設定支援（設定の代行）ができること。	重要		
10	アカウント管理	管理者権限を有するアカウントは、本サービスを利用するアカウントごとの利用履歴（いつ、どのような操作が行われたか、送信したプロンプトの内容など）を確認できること。	重要		
11	アカウント管理	管理者権限を有するアカウントは、本サービスを利用するアカウントごとの利用履歴をCSVファイルなどで出力できること。	要望		
12	大規模言語モデル (LLM)	“GPT-3.5 Turbo”と同等以上のLLMを標準で利用できること。 (上記以外に標準で利用可能なLLMがある場合は、特記事項に記載すること)	必須		
13	大規模言語モデル (LLM)	“GPT-4”と同等以上のLLMを任意で利用できること。 (利用可能なLLM及び利用可能な質問数を特記事項に記載すること) なお、利用にあたって見積りに含まれない別途費用が発生する場合は対応度をBとし、追加費用及び利用可能な質問数を特記事項に記載すること。	重要		
14	大規模言語モデル (LLM)	LLMの進化に追従し、将来的に“GPT-4”を超えるLLMにも柔軟に対応できること。 (追加費用の有無は現段階では問わない)	重要		
15	プロンプト	プロンプトのやりとりはチャット形式で行われること。また、AIの回答に対して追加でプロンプトを送信できること。	必須		
16	プロンプト	チャットは必要に応じて、新しい会話から始めることも、過去の会話から続けることもできること。	必須		
17	プロンプト	プロンプトは、利用職員が自由に作成して送信することができるほか、あらかじめ用意されたテンプレートをを用いて作成・送信することもできること。	必須		
18	プロンプト	テンプレートは、自治体業務に適したものが複数用意され、随時アップデートされること。	重要		
19	プロンプト	職員が作成したプロンプトをテンプレートとして登録ことができ、他の職員に展開することもできること。	重要		
20	ドキュメント検索	本市が保有する例規、文書、マニュアル等のテキストベースで構成されたファイル（以下「ドキュメント」という。）をアップロードでき、ドキュメント内に記載された内容に基づき、適切な回答を生成できること。	必須		
21	ドキュメント検索	アップロード可能なドキュメントのファイル形式は、PDF、Word、Excel、CSVのいずれか2種類以上に対応していること。 (対応可能なすべての形式を特記事項に記載すること)	必須		
22	ドキュメント検索	ドキュメント内に含まれる表についても適切に内容を理解し、回答を生成できること（ただし、テキストベースの表に限る）。	重要		

No.	区分	機能要求内容	必要性	対応度	代替方法又は特記事項
23	ドキュメント検索	ドキュメントはフォルダやグループなどの単位（以下「フォルダ」という。）で管理することができ、それぞれのフォルダに対してアカウントごとにアクセス権を設定できること。また、アクセス権を持つフォルダに含まれるドキュメントのみを対象として回答を生成できること。 （フォルダ分け以外の方法でドキュメント検索のアクセス権を制御できる場合も可とする）	重要		
24	ドキュメント検索	ドキュメントのアップロード可能ファイル数に制限がないこと。 （容量制限やフォルダあたりの制限はあっても可。その場合は特記事項に制限内容を記載すること）	重要		
25	ドキュメント検索	複数のドキュメントを一括してアップロードできること。また、フォルダを指定して一括でアップロードできること。	重要		
26	ドキュメント検索	ドキュメントに画像が含まれる場合、OCR等により画像からテキストを認識し、その内容を加味して回答を生成することができること。	要望		
27	外部公開	市民などの一般利用者に向けたチャットを公開することができること。	要望		
28	外部公開	一般利用者向けのQAを登録することができ、利用者の質問についてAIが内容を理解し、適切なQAに導くことができること。	要望		
29	利用上限	“GPT-3.5 Turbo”と同等以上のLLMにおいて、「20万質問/月」以上の利用ができること。 （本要件を満たすプランを見積り価格とすること。また、契約後、本要件で要求する質問数の90%までは契約金額内での利用を保証すること。）	必須		
30	利用上限	“GPT-4”と同等以上のLLMにおいて、「5,000質問/月」以上の利用ができること。 （本要件を満たすプランを見積り価格とすること。また、契約後、本要件で要求する質問数の90%までは契約金額内での利用を保証すること。）	必須		
31	利用上限	契約プランに含まれるアカウント数、同時アクセス数、質問数を超えた場合でも、即座に従量課金に移行せず、利用の一時停止など、追加料金が発生しない措置を講ずることができること。	重要		